

う蝕学分野

【論文】

- 1) Asahi Y, Kuriki N, Okamoto M, Motooka D, Nakamura S, Maezono H, Kittipit Klanliang, Shimaoka T, Iida T, Ebisu S, Noiri Y, Hayashi M: Microbiome of apical intracanal and extraradicular biofilms from the same roots of teeth with persistent apical periodontitis: an observational study. *Int Endod J*, 59(5), 806-818, 2026.
- 2) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Yoshiba N, Takahara S, Gomez-Kashimoto S, Ida T, Edanami N, Yoshiba K, Takenaka S, Noiri Y: Hyperglycemia in obese type 2 diabetes mellitus rats affects pulp wound healing. *J Oral Biosci*, 67(4): 100683, 2025.
- 3) Edanami N, Yoshiba K, Ibn Belal RS, Yoshiba N, Takenaka S, Ohkura N, Takahara S, Ida T, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Thongtade P, Noiri Y: Role of dystrophic calcification in reparative dentinogenesis after rat molar pulpotomy. *Int J Mol Sci*, 26(15): 7130, 2025.
- 4) Takahara S, Ohkura N, Yoshiba N, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Edanami N, Ida T, Takenaka S, Yoshiba K, Noiri Y: Influence of tooth maturity on healing outcomes in regenerative endodontics. *J Dent Res*, 104(10): 1147-1157, 2025.
- 5) Edanami N, Yoshiba K, Ibn Belal RS, Yoshiba N, Takenaka S, Ohkura N, Takahara S, Ida T, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Thongtade P, Noiri Y: Expression of small integrin-binding ligand N-linked glycoproteins during early pulp wound healing in rat molars (SIBLNG proteins in early pulp healing). *ODEP*, 5(1): 44-53, 2025.

【商業誌】

- 1) 野杵由一郎: 口腔ケアロボット『g. eN』の歩み. *日本歯科評論*: 85(7) 116-119, 2025.
- 2) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療③ - 第 3 回長生きを切り拓く口腔ケアロボットの未来につながるイベントについて -. *大阪歯科保険医新聞* 1545: 4-4, 2026.
- 3) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療 - ②削って詰めるから診て管理するへ -. *大阪歯科保険医新聞* 1541: 4-4, 2025.
- 4) 野杵由一郎, 佐藤莉沙子: 新潟大学のう蝕予防プログラム (NUCRA) への唾液のう蝕関連細菌検査「サリパチェックラボ」の活用. *GC サークル* 196: 14-19,

2025.

- 5) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療 - ①Modern endodontics の実際と技術革新後の歯内療法 -. *大阪歯科保険医新聞* 1537: 4-4, 2025.
- 6) 野杵由一郎: これからのう蝕予防管理—歯科衛生士の役割と対応. *歯科衛生士だより* 88:1-3, 2025.

【研究費獲得】

- 1) Noiri Y, Takahashi R, Sotozono M, Takenaka S, Komatsu Y: A comprehensive analyses of the microbiome and their function in root caries using a next-generation sequencing. Nakao Foundation Worldwide for Oral Health The 6th Foundation Nakao, J25G0072-2, 2025.
- 2) 竹中彰治, 茂呂寛, 清水詩子, 山村昌平, 瀧脇雄介, 野杵由一郎: 在宅高齢者の誤嚥性肺炎リスクを感知する血中抗体価を指標とした携帯型迅速検査の創出. *日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (B)*, 24K02763, 2025.
- 3) 井田貴子, 大倉直人, 野杵由一郎: 細胞外微小環境制御因子としての 5 型コラーゲンを新機軸とした炎症制御機構の解明. *日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C)*, 25K13002, 2025.
- 4) 大倉直人, 立川正憲, 中馬吉郎, 吉羽永子, 竹中彰治: 口腔-脳連関での *P. gingivalis* 外膜小胞の内在化機構および送達経路の解明. *日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C)*, 25K13017 2025.
- 5) 枝並直樹, 野杵由一郎: ラット実験モデルを用いた各種歯内療法後の新生セメント質形成メカニズムの解明. *日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C)*, 23K09164, 2025
- 6) 竹中彰治, 茂呂寛, 清水詩子, 野杵由一郎: 認知症に対応し在宅看護を支援する感染バイオマーカーの携帯型迅速検査デバイスの開発. *日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的研究 (萌芽)*, 24K22229, 2025
- 7) 外園真規: *In situ* デンタルバイオフィルムモデルを用いたプロバイオティクスの評価. *日本学術振興会科学研究費基金 若手研究*, 24K19874, 2025.
- 8) 永田量子: 磁気ビーズによる口腔ピロリ菌の分離培養法を確立し口腔 Dysbiosis を検索する. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究*, 918713, 2025.
- 9) 高原信太郎: 活性酸素種除去剤を併用した異種歯髄幹細胞移植による新規再生歯内療法の開発. *日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援*, 25K24062, 2025.
- 10) 齋藤瑠郁: 非感染性疾患への応用を見据えた免疫調節作用による新規歯周炎治療薬の開発. *日本学術振*

興会科学研究費基金 特別研究員奨励費, 25KJ1339, 2025.

- 11) 大倉直人: 細胞外小胞内在化機構を利用した新規薬物輸送技術の創出. 令和7年度新潟大学U-go グラント, 2025
- 12) 高橋竜平, 竹中彰治, 野杵由一郎: 根面う蝕の新規病因論の創出と病態概念のイノベーション研究. 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, J25H0001, 2025.
- 13) 佐藤大地, 外園真規, 野村暢彦, 野杵由一郎: In situ dental biofilm から得られた外膜小胞 (Membrane vesicle; MV) を標的に病原性バイオフィルムの制御を目指す研究. 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, J25H0001, 2025
- 14) 野杵由一郎: 長生きを切り拓く一口腔ケアロボットのみらいにつながる臨床研究を!. クラウドファンディング, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Naoto Ohkura: Analyses of internalization mechanism and transporting pathway of outer membrane vesicles derived from Porphyromonas gingivalis. International Collaborative SYMPOSIUM on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, 8-9 February 2026.
- 2) 野杵由一郎: 『長生きを切り拓く 口腔ケアロボットの”未来”につながる研究』. 第9回ACFF日本支部総会・特別講演・研究成果報告, 東京, 2026年3月15日.
- 3) 野杵由一郎: ・なぜ痛みは起きるのか?—しくみと緩和のヒント 講演2: 『知る・診る・対応する 歯の痛みと象牙質知覚過敏症』. 新潟大学医学部医学科 第13回学外会議2026, 新潟, 2026年3月7日.
- 4) 野杵由一郎: 『歯や口腔の疾患とバイオフィルム—AI時代の口腔疾患の予防と対策—』. 第一三共ヘルスケア株式会社2025年度研究成果発表会特別講演, 東京, 2026年3月2日.
- 5) 野杵由一郎: 講演3: 『長生きを切り拓く一口腔ケアロボットの”未来”につながる包括的検討—』. 第29回日本抗加齢歯科医学研究会, 東京, 2026年2月14日.
- 6) 野杵由一郎: 震災時の口と歯のケアに関する講演会. 気仙沼市立中学における口と歯の教育講演会, 気仙沼, 2025年12月1日.
- 7) 野杵由一郎: 新潟大学病院歯科におけるう蝕予防管理システムの臨床的評価. 第9回国公立大学歯科臨

床研究推進会議, 博多, 2025年9月29日.

- 8) 野杵由一郎: AI時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療. 沖縄県歯科医師会 令和7年度歯科医療従事者技術向上支援研修会, 那覇, 2025年9月5日.
- 9) 野杵由一郎: AI時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療. 2025年度 大阪府歯科保険医協会 特別講演会, 大阪, 2025年7月13日.
- 10) 竹中彰治: デンタルバイオフィルム制御の最前線II-洗口液の普及トリプルA(3A)-. 第39回日本バイオフィルム学会学術集会ランチョンセミナー, 新潟, 2025年7月6日, 同学術集会プログラム・抄録集: 22頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Jutharat Manuschai, Maki Sotozono, Shoji Takenaka, Ryouhei Takahashi, Rui Saito, Daichi Sato, Ryoko Nagata, Takako Ida, Yuichiro Noiri: THE EFFECTS OF PROBIOTIC AND ESSENTIAL SUPPLEMENTS ON PERIODONTITIS-ASSOCIATED BIOFILMS, International Collaborative SYMPOSIUM on Development of Human Research in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, 8-9 February 2026.
- 2) Momoka Kondo, Naoto Ohkura, Mai Inagaki, Shoji Takenaka, Sakura Mana, Masanori Tachikawa: Transport characteristics of periodontal pathogen P. gingivalis-derived nanoparticles at the human blood-brain barrier. Cerebral Vascular Biology (CVB) 15th International Conference 2025, Ann Arbor, USA, 2025, June 29-July 2nd, 2025.
- 3) 國友麻友, 大倉直人, 近藤もも香, 矢田浩晃, 稲垣舞, 立川正憲: 歯周病原菌由来外膜小胞の脳内分布: 神経細胞および軟髄膜への集積. 日本薬学会146年会, 大阪市, 2026年3月29日, 2026.
- 4) 稲垣舞, 大倉直人, 立川正憲: ヒト血液脳関門における歯周病原性細菌由来ナノ粒子の輸送システム. 第48回日本分子生物学会年会, 横浜, 2025年12月4日, 2025.
- 5) 佐藤莉沙子, 竹中彰治, 齋藤瑠都, 野杵由一郎: 新潟大学版う蝕リスク評価法を用いたう蝕予防管理の有効性. 日本歯科保存学会2025年度秋期学術大会(第163回), 長崎, 2025年11月7日, 日本歯科保存学会学術大会プログラム: 82頁, 2025.
- 6) 高原信太郎, 大倉直人, Rosa Baldeon-Gutierrez, Susan Gomez-Kasimoto, Pemika Thongtade, 竹中彰治, 廣瀬陽菜, 吉羽永子, 松崎英津子, 野杵由一郎: 異種歯乳頭由来幹細胞を用いた再生歯内療法における有用性の評価. 日本歯科保存学会2025年度

- 秋季大会(第163回), 長崎, 2025年11月6日, 2025年度秋季大会(第163回)プログラム: 79頁, 2025.
- 7) 大倉直人, 立川正憲, 大嶋淳, Rosa Edith Baldeon Gutierrez, 高原信太郎, Susan Gomez Kasimoto, 竹中彰治, 吉羽永子, 野杻由一郎: P. gingivalis 由来外膜小胞の内在化機構および輸送経路の同定. 第68会秋期日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025年10月17日, 日本歯周病学会会誌 67巻 suppl-2号, 141頁, 2025.
- 8) Pemika Thongtade, 大倉直人, 佐藤友里恵, Rosa Baldeon-Gutierrez, 高原信太郎, Meiwang Fang, Meircurius Surboyo, Susan Gomez-Kasimoto, 吉羽永子, 野杻由一郎: Wound healing reaction after pulpotomy of maxillary molars in SARM1 knockout rats. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月7日, 第67回歯科基礎医学会学術大会抄録集 77頁, 2025.
- 9) 齋藤瑠都, 土門久哲, 磯野俊仁, 寺尾豊: マクロライド誘導体 EM982 の Toll-like receptor 2 シグナルに対する作用解析. 第67回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025年9月5-7日, 同学術大会抄録集: 119頁, 2025.
- 10) 大倉直人, 井田貴子, 山本信一, 竹中彰治, 野杻由一郎: 高齢者へのう蝕処置に対して全部断髄を行った1症例. 第46回日本歯内療法学会学術大会, 塩尻, 2025年7月19-20日, 日本歯内療法学会学術プログラム・抄録集, 116頁, 2025.
- 11) 齋藤瑠都, 土門久哲, 竹中彰治, 野杻由一郎, 寺尾豊: エリスロマイシンを改変した免疫調節薬の開発研究. 令和7年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2025年7月12日, 新潟歯学会雑誌 55(2): 19-20頁, 2025.
- 12) 佐藤大地, 大倉直人, 外園真規, Rosa Baldeon-Gutierrez, Susan Gomez-Kasimoto, 高原信太郎, Jutharat Manuschai, 井田貴子, 竹中彰治, 野杻由一郎: ヒト歯髄幹細胞およびマウス前骨芽細胞における歯周病関連細菌 Porphyromonas gingivalis, Fusobacterium nucleatum が放出する外膜小胞の内在化機構解析. 第39回日本バイオフィルム学会学術集会, 新潟, 2025年7月6日, 第39回日本バイオフィルム学会学術集会プログラム・抄録集: 46頁
- 13) Susan Gomez-Kasimoto, Naoto Ohkura, Rosa Baldeon-Gutierrez, Shintaro Takahara, Takako Ida, Naoki Edanami, Shoji Takenaka, Nagako Yoshida, Yuichiro Noiri: Impact of high Glucose on differentiative potency in periodontal ligament cells and dental pulp stem cells. 日本歯科保存学会 2025年度春季大会(第162回), 松山, 2025年6月6日, 2025年度春季大会(第162回)プログラム: 73頁, 2025.
- 14) 井田貴子, 大倉直人, Gomez Kasimoto Susan Kiara, Rosa Baldeon-Gutierrez, 枝並直樹, 竹中彰治, 野杻由一郎: 歯根膜における5型コラーゲンの組織学的解析, 日本歯科保存学会 2025年度春季大会(第162回), 松山, 2025年6月5-6日, 2025年度春季大会(第162回)プログラム: 23頁, 2025.
- 15) 佐藤莉沙子, 外園真規, 野杻由一郎: 全自動歯ブラシ g.eN の有用性とマウススクリーニングジェル(MA-T®)の効果に関する研究. 第68回春季歯周病学会学術大会, 那覇, 2025年5月24日, 日本歯周病学会誌 第67巻(春季特別号): 150頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) 齋藤瑠都, 土門久哲, 磯野俊仁, 寺尾豊: 免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の探索とその作用解析. 第10回口腔微生物研究会, 北九州, 2025年9月8日.

【受賞】

- 1) 高原信太郎: Influence of Tooth Maturity on Healing Outcomes in Regenerative Endodontics. 新潟大学学生優秀論文賞, 新潟大学研究推進機構, 2025年8月7日
- 2) 大倉直人: SVCT2-GLUT1 mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing. 2025年度日本歯科保存学会学術賞, 2025年6月5日.
- 3) 大倉直人: 歯髄創傷治癒および歯髄再生過程におけるリン酸トランスポーター(Pit-1)の免疫組織学的解析. 2025年度日本歯科保存学会 ジーシー優秀論文賞, 2025年6月5日.
- 4) 齋藤瑠都: 日本歯科保存学会 奨励賞, 2025年6月5日.
- 5) Rosa Baldeon-Gutierrez : Wound-healing Processes After Pulpotomy in the Pulp Tissue of Type 1 Diabetes Mellitus Model Rats. Ashraf F. Fouad Basic Science Paper-of-the-Year Honorable Mention 2025